

知っておきたい 女性 フィギュアの はじめかた

Essential knowledge and skills of creating Female figure.

アーマーモデリング編集部／編

Armour
Modelling

大日本絵画



知っておきたい 女性 フィギュアの はじめかた

Essential knowledge and skills of creating Female figure.



はじめに 女は乗せたい戦車隊

文／ローガン梅本
Described by Umemoto Ro-gan

戦車には女子高生。いまや、こっちのほうがむしろ普通だ。TVアニメ『ガールズ&パンツァー（以下ガルパン）』のおかげである。

しかしローガンが月刊アーマーモデリング誌で、戦車ダイオラマに必ず女性フィギュアを乗せはじめたころ、そんなどは少数派中の少数派だった。当時、どうして女性フィギュアを戦車に乗せちゃったのか……、まずはたいして深い考えはなかった。健康単純な女好きであること、それから奇をてらった、ということもある。とはいえるスケールモデル歴50年にもなろうという人間でもアーニャメやゲームキャラの美少女フィギュアの魅力なんどものは、何がおもしろいのかさっぱりわかつてなかつた。

ところが、自分で実際に女性フィギュアも作り始め、改造のため太ももを切断、接着してスリスリと撫で削ったりしていると、こんな小さな模型なのに、何やら怪しい胸騒ぎがしてきた。

そこでやっと女性フィギュアの魅力、必然にも近いたしかな存在価値と言うものに開眼したのである。

さて「何がなんでも女が乗ってる戦車の情景を作る」というアーマーモデリング誌の連載。そもそも戦時中から兵隊小唄で「女は乗せない戦車隊」などと歌われているくらいなので、当初は、真面目な戦車モデル諸兄の猛反発を食うかな、と思っていたのに反して、実際には「今月はどんな女性が出てくるのか楽しみにしてます」なんて励まされる始末。

そこで戦車模型の情景に女性フィギュアを配置するってのを大々的に流行らせようと思った。ところが、女性フィギュアって製品自体少ない。たとえば右上の九七式中戦車に乗っている女性フィギュアはやむなく男のフィギュアから女性化したものだった。ほかの場合も棒立ちの女性をさまざまなアクションポーズに改造せざるを得なかつた。そこでしょうがないので、フィギュアマイスター平野義高さんに原型製作をお願いして機関銃を撃ちまくっている1/35インジェクションプラスチック製の女性フィギュアセット「MGガールズ」をモデルカステンで製品化。

これでダイオラマの女天下が始まるかと思いきやさにあらず、あんまり売れなかつた。しかし、それでもめげず、戦場がダメなら一般生活の普通情景で、と思い1/35女子高生フィギュアシリーズを企画。これはそこそこは売れたが「女子高生情景が爆発的に流行するぞ、次はこれが来るぞ」という思惑はみごとに外れ。これは、女子高生フィギュアだけがあつても、周りの情景を作るための小物や、成人女性、男子中高生のフィギュアがないからだと思、一時、他のメーカーさんに製品化を勧めて回つたが、まったく反応が薄く、やがて女子高生シリーズも自然消滅。

ところがその頃から、ウクライナのメーカーから女性フィギュアが続々と発売され、やがてガルパンが大ヒット。最近ではハセガワさんのようなメジャーなメーカーまで女性フィギュアを続々と製品化するありさま。やっぱりモデルは「男らしい人たちばかりだった」のだと、感心している。



「女は乗せたい戦車隊」初期の作品。女性が出てくる情景と、普通に男の兵隊だけが出てくる情景、どっちがモデルや一般人の人たちに評価されるか、という実験のため、この作品を持って、静岡ホビーショーで、俳優の石坂浩二さんをはじめ、田宮俊作会長など模型業界の重鎮、モデルーズ合同展に会展中心中のモデルーのみなさん、果ては子供を連れてやって来たお母さんや、子供そのもの、それから外国人などありとあらゆる人、100人にどっちがいいか聞いてみた。その結果は僅差で、こっちの情景の勝ち。おもしろかったのは、あまり模型を知らないような女性や子供の方が普通の男の情景を支持したこと。モデルーの大半は男だからね「やっぱりねー」と、いう結果でした。





INDEX

- 02 はじめに
- 06 ようやく「美人作り放題」の時代がやって来た
- 08 いまだからこそ女性フィギュアを楽しむべき！
- 12 女性フォフィギュアを作る際に覚えていきたいこと
- 14 女性フィギュアを簡単に仕上げる入門編

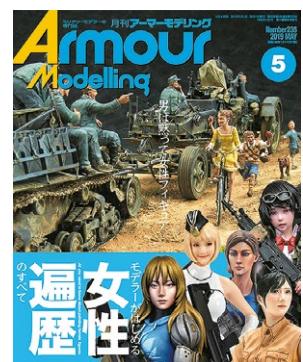
- 17 【第1章 知っておきたいメイクの基本と応用編】
- 18 3種類のメイク方法を覚えよう
- 24 3種類のメイクで塗り分けよう

- 33 【第2章 知っておきたい3Dスキャンフィギュアの塗装法】
- 34 3Dスキャンフィギュアをかわいく塗る
- 48 プロの3Dスキャンフィギュア塗装術

- 56 女性フィギュア界の先駆者 林 浩己のアプローチとは？

- 59 【第3章 知っておきたいプロのワザ その1】
- 60 ラッカー系塗料で1/35スケールの女性フィギュアを塗る
- 62 ガサガサ肌作りが美人への秘訣、砂吹き塗装実践
- 66 1/35スケールの女性フィギュアを使ってAFVヴィネットに仕立てる
- 70 フルスクラッチビルドで女性フィギュアを製作する

- 79 【第4章 知っておきたいプロのワザ その2】
- 80 フィギュアの解像度を高めるために施す青木桂一のワザ
- 84 アクリジョンを使ったジーンズ表現を極める
- 88 ファレホを使ったメイクアップ術
- 92 女性フィギュア界の匠、田川 弘の至芸



本書は月刊アーマーモデリング2019年5月号
に大幅に加筆修正を加えて再編集したものです

ようやく「美人作り放題」の時代がやって来た

月刊アーマーモデリング誌の2010年8月号で「美人作り放題」って女性フィギュアの特集をしたときに、ジブリの宮崎駿監督のところへインタビューに行ったんだけど、まず言られたのが「どうせ作るならアキバ系の連中がゾクゾクするような女を作んなきゃダメですよ」でした。

当時はモリナガさんに図解してもらったような状況で、アキバ系に限らず、そのままで「ゾクゾクするような」女性フィギュアは製品化されてなかった。そんななかでも女性フィギュアをかき集めて「美人コンテスト」開催、なんて記事もあったね。

アキバ系と言うより、当時の心あるモデラーはみんな自分たち自身がゾクゾクしたくて、数少ない女性フィギュアをあれこれして悪戦苦闘していた。筆者の記憶にある最古のインジェクションプラスチック製の1/35女性フィギュアはイタレリのドイツ軍女性補助兵、シュビムワーゲンのおまけについていたものだ。モリナガさんはかなり美化して描いてるけど、模型店で見つけて箱開けて成型品を見たときは脱力したもんだ。ゾクゾクしたいのにさせてくれなかつた。そんな経験を繰り返してたものだ。

あの特集号から約10年。女性フィギュアをめぐる状況はずいぶん変わった。いまや、次々と女性フィギュアが製品化され、品質も向上、塗装方法だけ練習すれば女性フィギュアでいくらでもゾクゾクできるのである。まったく幸せな世の中になったもんだ。

(ローガン梅本) ■



女性キャラクター

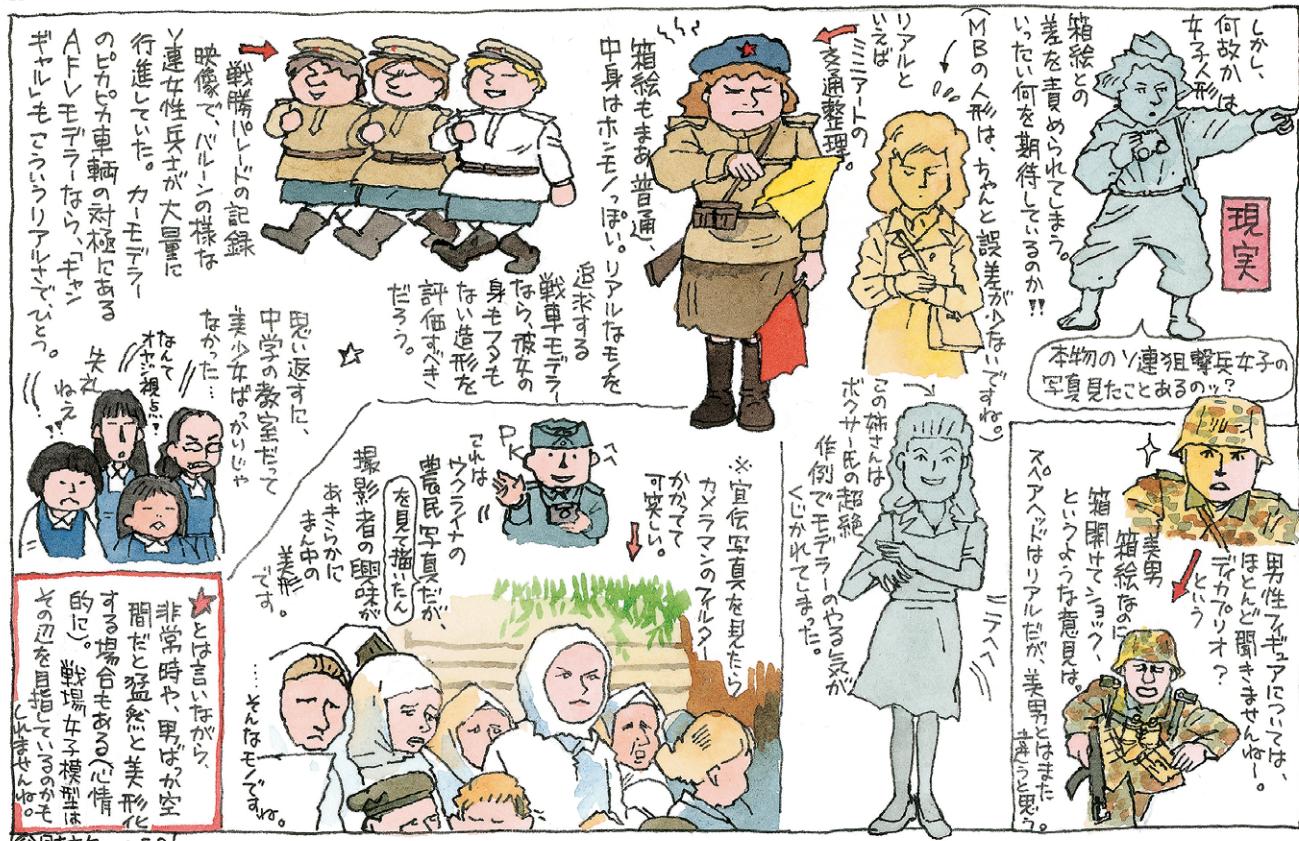
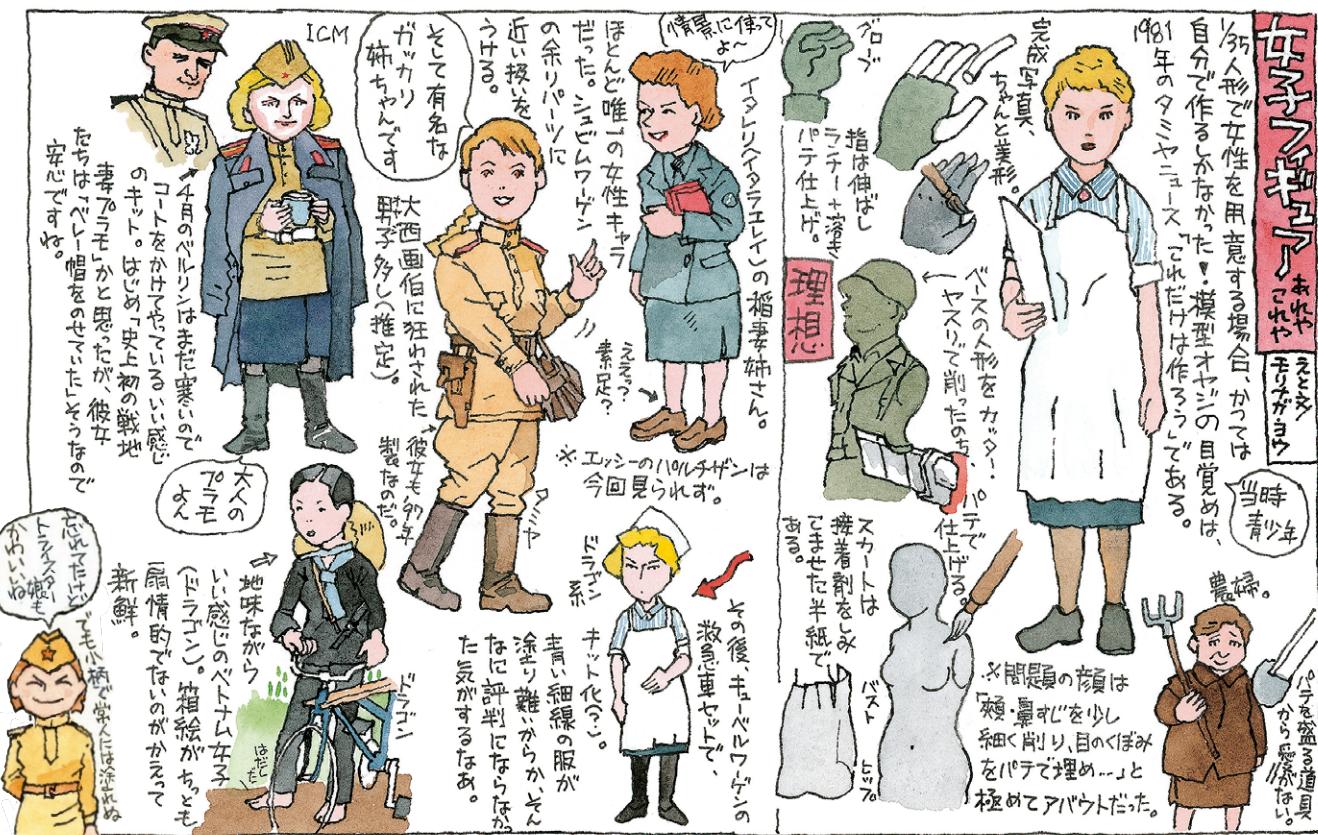
あれや
そらねがよ

えどく
とき

から農
道員

1/35人形で女性を用意する場合、かつては自分でも作るしかなかつた。模型オヤジの田宮めは、自分で作ろうとしてゐる。

1981年のタミヤース。これがなぜ作ろうとしてゐる。



イラスト初出：アーマーモデリング2010年8月号 イラスト／モリナガ・ヨウ

女性フィギュアを簡単に可愛く仕上げる入門編

まずは基本をマスターしよう。

まずははじめに、このポイントさえクリアすれば可愛く塗れる！ という要点を抑えた入門編をお送りする。女性フィギュアもプラモデルと同様、塗装経験が豊富なほうが上達が早い。題材に選んだのはブリックワークスの最新フィギュア(2019年11月現在)。本製品は冒頭の対談でも話題にあがった林 浩己原型なので初心者にも塗りやすい良キットだ。

製作／mamoru
Modeled by mamoru



■ミラクルガール 期待のルーキー[▲]
ブリックワークス 1/20 レジンキャストキット
Miracle Girl Expected rookie
BRICK WORKS 1/20 Resincast kit
©Kow Yokoyama2019



▲ピンク色サーフェイサーで全塗装後、ガイアノーツのノーツフレッシュピンクを下地のサーフェイサー色がうっすら残すように塗装。その後、ガイアノーツのノーツフレッシュで肌を塗装。肌の陰になる部分は塗装しない。



▲肌部分全体を一度ツヤありクリアードで塗装する。乾燥後に下着、ズボン、靴を塗装するために肌部分をマスキングする。



▲下着をガイアノーツのCM-10 ピンクで塗装。乾燥後に下着をマスキングし、スポンをMr.カラーのサンディブラウンで塗装。靴はMr.カラーのウッドブラウンで塗装した。



▲塗装が剥げないように塗装がしっかりと乾燥してからマスキングテープを剥がすのがよい。塗料のはみ出しがないか確認し、小さなはみ出しあれば筆で修正、または初めから塗装し直そう。



▲顔は最初に髪を塗装した。Mr.カラーの土地色を筆で塗装するが、毛先までしっかり塗ってしまうとカツラみたいに見えるので毛先は下地の肌色がうっすら残る感じで塗装するのがよい。



▲唇をガイアノーツのCM-10ピンクとノーツフレッシュピンクを混色したもので筆塗りする。好みにもよるが淡い色を使うと失敗が少ない。



▲タミヤエナメルのホワイトに微量のフラットフレッシュを混ぜて薄いクリーム色を作り白目を塗るが、はみ出しても問題ない。注意点として白目は真っ白で塗らないこと。白目の色は少し肌色に寄せると馴染みやすい。



▲エナメル系うすめ液を少し含ませた筆で、白目のはみ出した部分をモールドに添って少しづつ慎重に溶かして消していく。白目の調整が済んだら再度ツヤありクリアードでコートしておこう。



9



10

▲タミヤエナメルのハルレッドで瞳を描く。白目同様これもみ出してもOK！ エナメル系うすめ液を少し含めた筆でかたちを整えていく。

▲視線は左右どちらかに少し寄せると瞳の位置は定まりやすい。大きさはちょうどよいと思える大きさより一回り大きく描き、三白眼にならないように注意する。



11



12

▲瞳が決まったら同様にタミヤエナメルのジャーマングレイでアイラインを描き整える。目頭上部から目尻を尖らせてさらに下までぐるっと描いていくがここは好みで描いててもよい。最近は目頭も粘膜付近からガツツリ描くのが流行っているようだ。

▲タミヤエナメルのハルレッドとジャーマングレイの混色で眉毛を描く。眉毛を太めに描くと可愛く、ほどめに描くとキリッとした印象になる。描いた後は瞳と同様に形を整える。その後顔全体をツヤ消しクリアードコートする。



▲Mr.カラー ラスキウス クリアーベール レッドを筆でアイホール、髪と肌の境界線、小鼻の周り、口角から頬に向けて、頬の下側、涙袋、首筋、腹筋、脇の下や関節、肌と服の境目、膝と膝裏に薄く好みの段階になるまで塗っていく。口角にタミヤエナメルのハル

レッドをスミ入れする感覚で薄く塗る。服の細部を仕上げて肘と膝にタミヤのウェザリングマスターGセットのサーモンを擦り付けて赤味を追加。最後に全体をツヤ消しクリアードコートして組み立てたら完成！



Essential knowledge and skills of creating Female figure.

スタンダードメイク

まずは一般的、基礎的なメイクの塗装方法を解説する。このメイクをマスターすれば応用が効くようになる。先に髪の毛の塗装を済ませておく。



▲肌色はキットのままに■をベースに■や■を混色したものを薄く塗装。髪の毛のベースには■を使用して■や■で陰影を追加。最後に■を塗装してコートしておく。



▲赤みを出したい箇所に■を点で置いていく。



▲点で置いた塗料をラッカー系うすめ液を少し含ませた筆で伸ばして馴染ませていく。



▲口角や上下の唇の境界線になる部分に■、唇に■を点で置く。



▲■を左右に筋になるよう延ばした後で■を馴染ませる。■は口角側が濃くなるように色を塗り重ねて調整する。



▲■を目頭と目尻に薄く乗せていく。目の周りの丸みを意識しながら窪みになる部分を強調する。



▲■を目尻の下部に薄く乗せる。ここは強調しすぎると可愛くなりすぎるので程々に。



▲■を上瞼と目頭の下部に乗せる。明るい色を入れることでアイシャドウの2色に自然な立体感を出す。目頭下部に明色を置くのには目を横長に大きく見せる効果も。



▲■、■、■それぞれをラッカー系うすめ液を少し含ませた筆でボカすように馴染ませる。



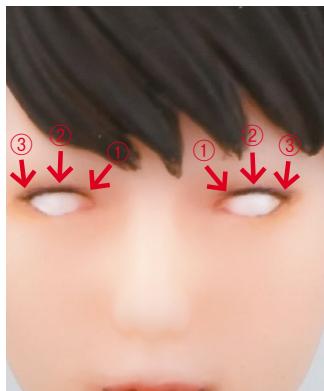
▲■を目の粘膜部分に塗っていく。目をぐるりと囲むのではなく目頭と目尻を始点に、中心に向かって延ばすイメージだ。



▲白目を■で塗る。先に塗った■との境界線を■を使ってうまくボカす。



▲■でアイラインを描く。



▲Mで二重のラインを描く。目の上側中心(②)は重なるように目頭(①)と目尻(③)はそれぞれ別れるように塗る。ここで目の印象がかなり決まるので慎重に！



▲眼球の輪郭を■で描く。眼球が瞼で隠れて見えない部分を意識しながら正円になるように描く。



▲Cで虹彩を描く。上瞼に近い部分は濃く下部は薄くなるよう濃度を調整する。



▲Jで瞳孔を描く。小さいと鋭い眼差しに、大きいと幼い雰囲気になる。□で眉を描くが眉頭と眉尻は薄くなるようにすると自然な雰囲気になる。眉はほそく描くと大人びた雰囲気になるが、今回は高校生なので少し太めに描いた。



▶最後にチークを■で薄く楕円に伸ばして描く。薄めた■とMで涙袋に赤味を追加し鼻の下や小鼻には■で影色を追加。全体のバランスを見ながら各部を調整する。鼻の頭やこめかみ、口角の周りや頬骨付近にはRを微量混ぜた■で青味を足すと肌らしくなる。アイシャドウが濃すぎると感じたら薄めた■を上から塗ることで自然な明度の調整ができる。



ISBN978-4-499-23283-8 C0076 ¥2700E

定価(本体2,700円+税)

9784499232838

1920076027000



大日本絵画

Dai Nippon Kaiga